

令和8年度 第1回 富塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月13日（水） 14時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 富塚中学校 2階会議室
- 3 出席委員 金原 圭吾、松本 剛、平出 謙介、久保田 智彦、池谷 忠彦、田口 美貴子、山本 由佳、坂口 歩
- 4 欠席委員 池谷 定康
- 5 オブザーバー 関 イチロー（市議会議員）、上妻 大起（富塚協働センター）
- 6 学 校 松原 通恭（校長）、青島 真紀（教頭）、岩岡 正紘（教務主任）、西村 脩平（2年主任）、加賀爪 さやか（ほたる主任）、伊澤 孝浩（生徒指導主事）、藤原 啓子（CS担当）、岩邊 三幸（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録制作者 CSディレクター 岩邊 三幸
- 9 副会長の指名
会長の金原委員から、松本委員を副会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 議長の選出
田口委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
 - (1) 学校運営の基本方針について
 - (2) 本校のいじめ防止基本方針について
 - (3) 本校のコミュニティ・スクールの進め方について
 - (4) 職場体験について
 - (5) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

12 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、ランドデザイン及び学校経営構想に基づき前回承認された学校運営基本方針について説明があり、委員との間で共通理解を図った。

(2) 本校のいじめ防止基本方針について

議長の指示により、生徒指導主事から、別紙資料に基づき、本校いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の意見があった。

- ・ 学校がいじめ対策について非常に積極的に取り組んでいることが分かった。アンケートも年5回実施しているとのことで、子供たちの意見も上がりやすいのではないと思う。現在、いじめが原

因で不登校になっている生徒はいるか。(久保田委員)

- ・ 本校ではいじめ事案はあるが、いじめを主な要因として不登校となっている生徒は現在いない。(生徒指導主事)

(3) 本校のコミュニティ・スクールの進め方について

議長の指示により、藤原(CS担当)より、別紙資料に基づき、本校のコミュニティ・スクールの進め方について説明があった。

本校では、総合的な学習の時間「TS」を、コミュニティ・スクールと深く関わる教育活動として位置付けており、地域や人との関わりを通して主体的に学ぶ活動を大切にしていることについて共有された。

さらに、「TS×ボランティア」が本校の社会参画を育てる取組の一つとなっており、多くの生徒が主体的に地域活動へ参加していることについて説明があった。

これを受けて、委員からは以下の意見があった。

- ・ 富中生のボランティアに対する意識は高いと感じている。自分の子供も、資源物回収の際には持って行くことを当たり前のこととして意識していた。そうした積み重ねが、高校生になってからも地域活動に参加しようとする意識につながっているのではないかと感じた。(田口委員)

(4) 職場体験について

2年主任及びひたる学級主任より、別紙資料に基づき、2年生の職場体験について説明があり、受け入れ先(特に飲食、接客、保育等、人とかかわる職種)について、引き続き地域への協力依頼があり、委員からは以下の意見があった。

- ・ 昨年度は、中学3年生の保護者の中に現役の消防団員が7人いた。職場体験の趣旨とは異なる部分もあるかもしれないが、地域防災について学ぶ機会として、消防団の活動に触れることも良いのではないかと感じている。また、消防団としても、要望があれば可能な範囲で協力したい。(平出委員)
- ・ 飲食や保育など、人と関わる職種に携わっている方がいれば紹介していきたい。また、受入れ人数や職種、今後開拓していきたい分野等についても教えてもらえれば、協力していきたい。(田口委員)
- ・ これまでの職場体験先を見ると、販売や接客の職種が比較的多い。浜松の魅力の一つでもある「ものづくり」に関わる職場を体験することで、子供たちが地元の魅力を感じる機会になる。そうした受入先について、情報があれば協力をお願いしたい。(教頭)
- ・ 受入先を検討するにあたり、生徒が移動できる範囲について確認したい。ものづくりに関わる事業所となると、北部地域や繊維関係の事業所等も考えられるが、やや距離があるため、片道の移動時間等、受入先を検討する際のおおよその基準があれば教えていただきたい。(坂口委員)
- ・ 職場体験先によっては、交通費等の費用が発生する場合もあるので、保護者の理解や協力についても確認していきたい。(教頭)
- ・ 子どもが希望したものであれば、理解を示す保護者は多いと思うが、遠方であったり、費用面で差が出たりする場合には、配慮が必要になると思う。(坂口委員)

(5) 夢育やらまいか事業CS加算分の対する意見書

議長の指示により、教頭より、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業について説明があった。

子どもたちの夢や心の成長につながる取組に対して、予算が配当されていることや、地域人材を活用した活動等を進めていく予定であることが共有された。

13 報 告

学校支援コーディネーターより、学校支援活動について報告があり、4月16日に第1回打ち合わせを実施したこと、また、職場体験先の受け入れ先への連絡調整について、6月末頃から担当教員と連携しながら進めていく予定であることが共有された。

なお、オブザーバーの関氏から、9月から始まる部活動の地域展開について、学校運営協議会の中でも現状や仕組みについて共有し、地域としてどのように関わっていくかを話題にしていけるとよいのではないかとの意見があった。

その他連絡事項

CSディレクターより、連絡事項として、第2回から第4回までの学校運営協議会開催予定について説明があった。なお、次回会議は令和8年9月18日（金）午後1時30分から授業参加をした後、午後2時から行う旨の報告があった。

以上をもって閉会した。